

BenQ

G2420HDB

24" ワイドスクリーンLCD モニタ
ユーザーズ ガイド

ようこそ

著作権

Copyright © 2009 by BenQ Corporation. All rights reserved. 本書のいかなる部分も、BenQ Corporation の事前の書面による同意なく、電子的、機械的、磁氣的、光学的、化学的、手動その他の手段を問わず、複製、転載、改変、検索システムへの保存、他言語またはコンピュータ言語への翻訳を行うことはできません。

免責

BenQ Corporation は、明示的または暗示的を問わず、本書の内容に関して、特に保証、商業的可能性、特定目的への適合性に関しては、いかなる表明または保証もいたしません。また、BenQ Corporation は、お客様に改訂または修正の通知を行う義務を負うことなく、本書を改訂したり、本書の内容を随時修正する権利を有します。

モニタが最高の性能で動作するよう、またモニタをできるだけ長くお使いいただくために、以下の安全上の注意点に従ってください。

電源についての安全対策

- AC プラグにより、AC 電源と本装置の接続が解除されます。
- 電源コードは、プラグ着脱可能な装置では電源停止デバイスとして機能します。電源コンセントは、本装置の近くに設置され、すぐに利用できる状態になっている必要があります。
- 本製品は、ラベルのマークに示されている電源タイプで動作させる必要があります。利用可能な電源のタイプが不明の場合は、取扱店または地域の電気会社にお問い合わせください。

お手入れと清掃

- 清掃を行う前に、必ず壁のコンセントからモニタの電源コードをはずしてください。LCD モニタの表面を、けば立ちのこない非研磨性の布でふきます。液体、エアゾール、ガラスクリーナは使用しないでください。
- キャビネット背面または上面のスロットと開口部は換気用のものです。これらの部分をふさいだり、覆ったりしないようにしてください。モニタは、ラジエータまたは熱源の近くや上部に置かないでください。また、適切な換気が行われない限り、内蔵させないようにしてください。
- 本製品内に異物を押し込んだり、液体をこぼしたりしないようにしてください。

保守

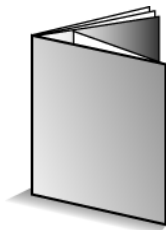
本製品の保守をご自身で行わないでください。カバーを開けたり取り外したりすると、高電圧部分やその他の危険な部分に触れるおそれがあります。上記の誤用、または落下や取り扱いミスなどその他の事故については、認定サービス担当者に連絡を取り、保守を依頼してください。

目次

はじめに	4
モニタの外観	6
前面ビュー	6
背面ビュー	6
モニタ ハードウェアの取り付け方法.....	7
スタンドベースの取り外し.....	10
BenQ モニタの特長を生かすために.....	11
新しいコンピュータにモニタをインストールするには	12
既存のコンピュータでモニタをアップグレードするには.....	13
Windows Vista システムへのインストール方法	14
Windows XP システムにインストールするには.....	15
画像の最適化	17
モニタの調整	18
コントロール パネル.....	18
ホットキー モード.....	19
メインメニュー モード	20
トラブルシューティング	29
よくある質問 (FAQ).....	29
それでも具合が悪いときは	30

1.はじめに

以下のものが揃っていることを確認してください。万一、不足しているものや破損しているものがあつた場合には、製品をお買い上げいただいた販売店まで直ちにご連絡ください。

BenQ LCD モニタ	
モニタ ベース	
クイック スタート ガイド	
CD-ROM ディスク	
電源コード (地域によって製品図が異なる場合があります)	
信号ケーブル: D-Sub	

信号ケーブル: DVI-D (オプション)	
------------------------------	---

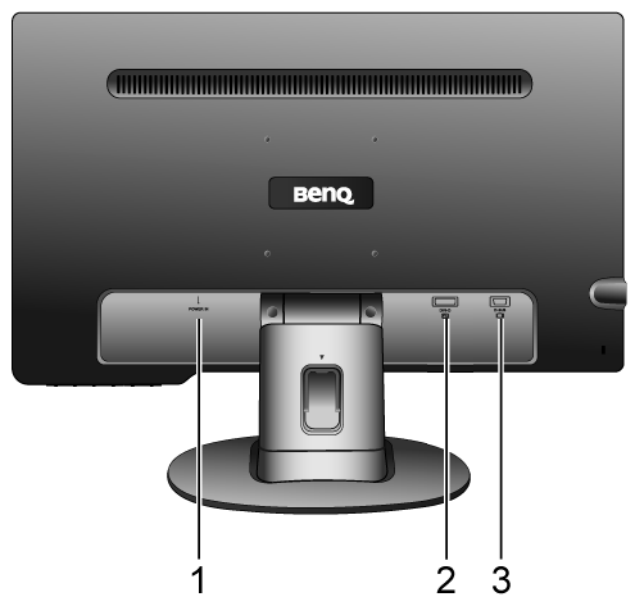
💡 モニタの梱包材料は、将来搬送する必要があるときのために捨てずに保管しておいてください。専用の発泡スチロールは、移動中にモニタを保護するのに適しています。

2. モニタの外観

前面ビュー



背面ビュー



1. 電源 AC 入力ジャック
2. DVI-D 入力ソケット
3. D-Sub 入力ソケット

3. モニタ ハードウェアの取り付け方法

☞ コンピュータの電源がオンになっている場合は、モニタを設置する前にオフにしてください。コンピュータをオンにしたままモニタを接続したり、モニタの電源を入れたりしないでください。

1. モニタベースを設置します。

☞ モニタが破損しないように注意してください。スクリーン面をホッチキスやマウスなどの異物にぶつけると、ガラスが割れたり、LCD サブストレートが破損したりします。このような事故については保証が適用されません。モニタを机の上で滑らせると、モニタの周りやコントロールにキズがついたり、破損したりします。

モニタおよびスクリーンは物が置かれていない平面的な机の上に設置し、またクッションとしてモニタパッケージバッグのような柔らかい物の上に置いてください。

スクリーンを下向きにして、物が置かれていないパッドの上に置いてください。

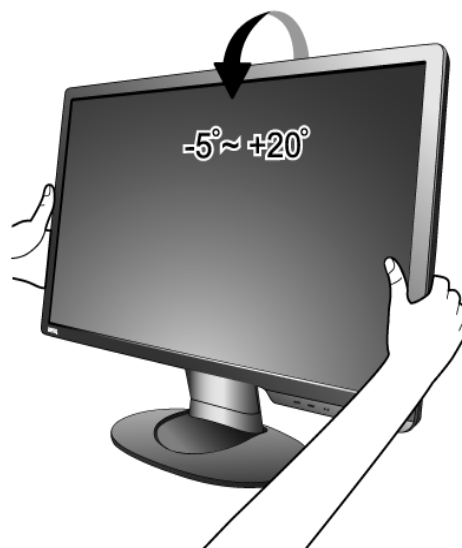
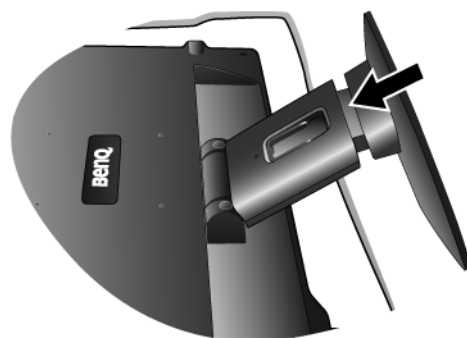
モニタをしっかりと持ち、モニタのスタンドアームを上へ引き上げてください。

スタンドベースのソケットとスタンドアームの端の向きを合わせて、カチッという音がしてロックされるまで押し込んでください。

ゆっくりと引き上げてみて、しっかりと設置されたことを確認します。

ゆっくりとモニタを持ち上げて、机の上に正面を向くように設置します。

💡 照明の反射を最小限に留めるために、モニタの位置とスクリーンの角度を調整してください。



2. PC ビデオケーブルを接続します。

 同一 PC に DVI-D ケーブルと D-Sub ケーブルを同時に使用しないでください。これらのケーブルは、2 台の異なる PC と適切なビデオシステムがある場合のみ同時に使用することができます。

DVI-D ケーブルをモニタの DVI-D ソケットに接続し、もう片端をコンピュータの DVI-D ポートに接続します。(オプション)

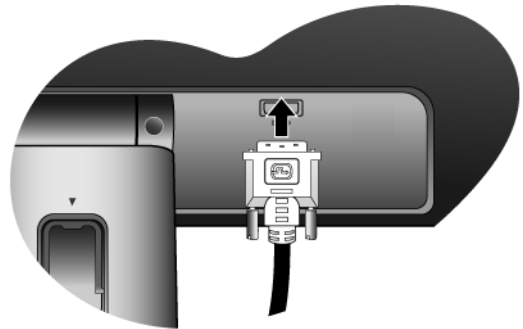
 ソースビデオとデジタルLCDモニタやプロジェクタを直接接続する場合は、DVI-D フォーマットを使用します。デジタルビデオ信号は、アナログ信号よりも優れた品質を実現します。
D-Sub ケーブル (フェライトフィルタが付いていない方) をモニタの D-Sub ソケットに繋ぎます。
D-Sub ケーブル (フェライトフィルタが付いている方) をコンピュータのビデオ D-Sub ソケットに繋ぎます。

使用中にプラグが外れてしまわないように、すべてのネジをしっかりと締めてください。

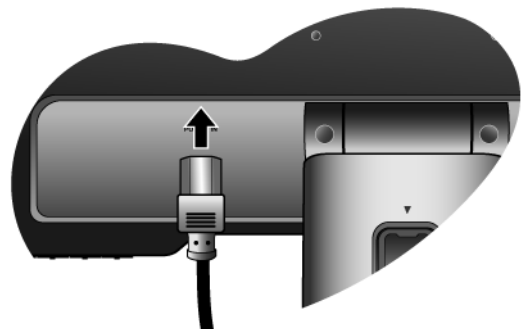
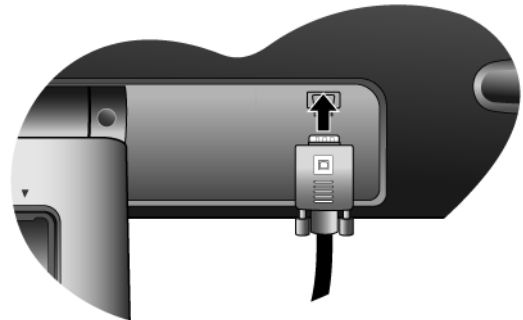
3. モニタに電源ケーブルを接続します。

モニタの背面の「POWER IN」と記載されたソケットに電源コードをつなぎます。この時点ではまだコンセントにプラグを差し込まないでください。

あるいは

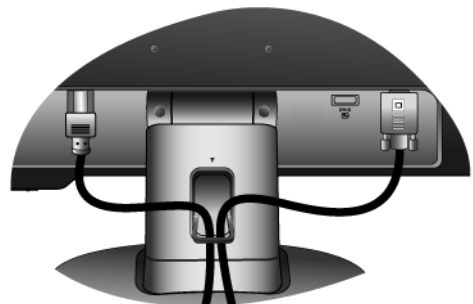
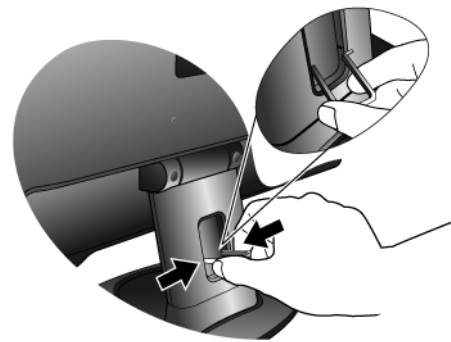


または



4. ケーブルをブラケットに通します。

図に示す通り、クリップを内側に押し込んでケーブルを放します。ケーブルをまとめてクリップを再度挿入し、モニタスタンドの後ろにきれいに収納します。



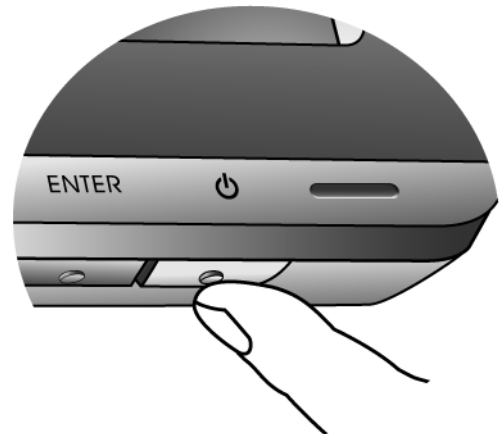
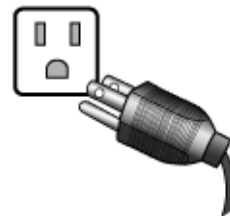
5. 電源に接続し、電源をオンにします。

電源コードをコンセントに差し込んで、電源を入れます。

 地域によって製品図が異なる場合があります。

電源キーを押してモニタの電源を入れてください。

コンピュータの電源も入れて、セクション4 **BenQ モニタの特長を生かすために**の手順にしたがって、モニタソフトをインストールしてください。



スタンドベースの取り外し

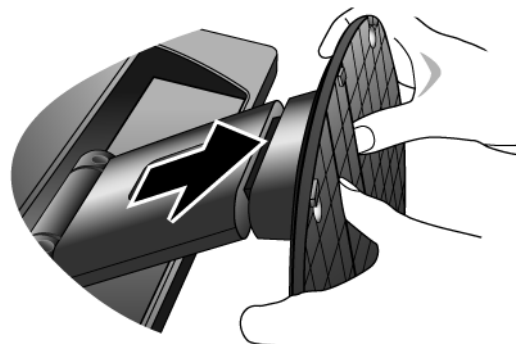
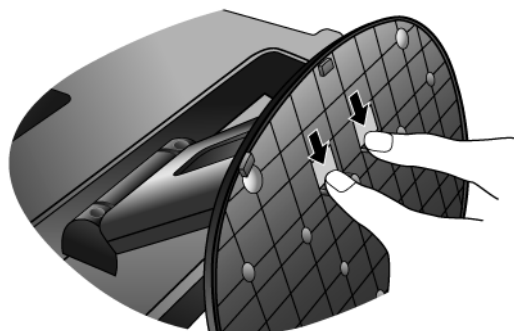
1. モニタと作業場所の準備。

電源ケーブルを外す前に、モニタの電源を切ります。モニタ信号ケーブルを外す前に、コンピュータの電源も切ります。

 モニタが破損しないように注意してください。スクリーン面をホッチキスやマウスなどの異物にぶつけると、ガラスが割れたり、LCD サブストレートが破損したりします。このような事故については保証が適用されません。モニタを机の上で滑らせると、モニタの周りやコントロールにキズがついたり、破損したりします。

ベースを取り外す際モニタとスクリーンにキズがつかないように、机の上の物を一旦別の場所に移します。次にクッションとしてタオルなどの柔らかい物の上にスクリーンを下向きに置きます。

2. ロッククリップを押して、モニタスタンドアームからモニタベースを外してください。



4. BenQ モニタの特長を生かすために

BenQ カラー LCD フラットスクリーンモニタの利点を最大限に生かすには、BenQ LCD Monitor CD-ROMに格納されている BenQ LCD Monitor ドライバをインストールする必要があります。

BenQ LCD モニタを接続、インストールする状況に応じて、BenQ LCD Monitor ドライバをインストールする手順が変わります。これらの状況とは、使用する Microsoft Windows のバージョン、モニタを接続し、ドライバをインストールするコンピュータが新しいものであるかどうか（既存のモニタドライバが存在しないかどうか）、または既存のドライバを新しいモニタ用にアップグレードするかどうか（既存のモニタドライバが存在する）などを指します。

いずれの場合にしても、次回コンピュータの電源を入れるとき（コンピュータにモニタを接続した後）、Windows は自動的に新しい（または異なる）ハードウェアを識別し、新しいハードウェアが検出されましたウィザードを起動します。

モニタモデルを選択するように要求されるところまで、ウィザードの指示にしたがってください。このとき、ディスク使用ボタンをクリックして BenQ LCD Monitor CD-ROM を挿入し、適切なモニタモデルを選択します。自動インストール（新規ドライバ）とアップグレード（既存のドライバ）の手順については、次のセクションをお読みください。

- 12 ページの「新しいコンピュータにモニタをインストールするには」
- 13 ページの「既存のコンピュータでモニタをアップグレードするには」

☞ ログインするためにユーザー名とパスワードの入力が必要な Windows コンピュータにモニタドライバをインストールするには、管理者の権限でログオンするか、管理者グループのメンバーとしてログオンしてください。また、セキュリティ設定が施されたネットワークにコンピュータを接続している場合は、ネットワークポリシーによりコンピュータにドライバをインストールできない場合があります。

新しいコンピュータにモニタをインストールするには

ここでは、まだモニタドライバが何もインストールされていない新しいコンピュータで BenQ LCD モニタドライバを選択し、インストールする手順を説明します。この手順は未使用のコンピュータで、BenQ LCD モニタが初めて接続するモニタである場合にのみしたがってください。

☞すでに他のモニタを接続したことがある、使用済みのコンピュータに BenQ LCD モニタを接続する場合は(すでにモニタドライバがインストールされている場合)、この手順にしたがうことはできません。「既存のコンピュータでモニタをアップグレードするには」の説明にしたがってください。

1. セクション3「**7 ページの「モニタ ハードウェアの取り付け方法」**」の手順にしたがってください。
Windows が起動すると、新しいモニタが自動的に検出され、**新しいハードウェアが検出されましたウィザード**が起動します。**ハードウェアドライバのインストールオプション**が表示されるまで、画面の指示にしたがってください。
2. BenQ LCD Monitor CD-ROM をコンピュータの CD ドライブに挿入します。
3. **デバイスに最適なドライバを検索するオプション**をチェックし、**次へ**をクリックします。
4. **CD-ROM drives** オプションをチェックし(その他のオプションはチェックしない)、**次へ**をクリックします。
5. ウィザードが正しいモニタ名を選択したことを確認し、その後で **Next (次へ)** をクリックします。
6. **完了**をクリックします。
7. コンピュータを再起動します。

既存のコンピュータでモニタをアップグレードするには

ここでは、Microsoft Windows コンピュータ上で既存のモニタドライバを手動で更新する方法を説明します。モニタドライバは現段階で Windows XP および Windows Vista との互換性がテストされています (推奨のみ)。

☞ このモデルの BenQ LCD モニタドライバは他のバージョンの Windows と問題なく作動するはずですが、本書作成段階において他のバージョンの Windows でこれらのドライバのテストが完了しておらず、正常な作動を保証することはできません。

モニタドライバをインストールするには、BenQ LCD Monitor CD-ROM から使用するモニタモデル用の適切な情報ファイル(.inf)を選択し、Windows に相当するドライバを CD からインストールさせる必要があります。必要な作業は自動的に行われます。Windows には自動的に作業を行い、ファイル選択とインストール手順をガイドしてくれるデバイスドライバのアップグレードウィザードが用意されています。

詳細は、を参照してください。

- [14 ページの「Windows Vista システムへのインストール方法」。](#)
- [15 ページの「Windows XP システムにインストールするには」。](#)

Windows Vista システムへのインストール方法

1. Display Settings (画面の設定) を開きます。
デスクトップを右クリックして、ポップアップメニューから Personalize (カスタマイズ) を選択します。
Personalize appearance and sounds (表示とサウンドをカスタマイズ) ウィンドウから Display Settings (画面の設定) を選択します。
すると Display Settings (画面の設定) ウィンドウが開きます。
 2. Advanced Settings (詳細設定) ボタンをクリックします。
すると Generic PnP Monitor Properties (一般 PnP モニタのプロパティ) ウィンドウが開きます。
 3. Monitor (モニタ) タブをクリックし、次に Properties (プロパティ) ボタンをクリックします。
 4. User Account Control (ユーザーアカウントコントロール) ウィンドウで Continue (続行) をクリックします。
 5. Driver (ドライバ) タブをクリックし、次に Update Driver (ドライバの更新) ボタンをクリックします。
 6. コンピュータの CD ドライブに BenQ LCD Monitor CD-ROM を挿入します。
 7. Update Driver Software (ドライバソフトウェアの更新) ウィンドウで "Browse my computer for driver software (コンピュータからドライバソフトウェアを探す)" オプションを選択します。
 8. 'Browse (参照)' をクリックし、次のディレクトリを参照してください：
d:\BenQ_LCD\Driver\ (d には CD-ROM ドライブに割り当てられた文字が表示されます)。
-  CD ドライブのドライブ文字は、お使いになるシステムによって上の例とは異なる場合があります。
D:、E:、F: かもしれませんし、それ以外の文字かもしれません。
9. 表示されるドライバリストから正しいモニタ名 (フォルダ) を選択し、Next (次へ) をクリックします。
すると適切なモニタドライバファイルがコンピュータにコピーされ、インストールされます。
 10. Close (閉じる) をクリックしてください。
BenQ LCD モニタドライバが必要な作業を行いますので、Windows Vista を再起動する必要があります。

Windows XP システムにインストールするには

1. 画面のプロパティを開きます。

画面のプロパティは、Windows デスクトップから選択するのが一番簡単です。
デスクトップを右クリックし、ポップアップメニューから**プロパティ**を選択します。

また**画面のプロパティ**は**コントロールパネル**から開くこともできます。

Windows XP バージョンでは、**コントロールパネル**はメインの**スタートメニュー**から直接選択できます。

表示されるメニューオプションは、システムで選択した表示タイプによって異なります。

- ・ クラシックビューでは、**スタート | コントロール パネル | 画面**をクリックします。
- ・ カテゴリービューでは、**スタート | コントロール パネル | 表示とテーマ | 画面の解像度を変更**をクリックします。

すると**画面のプロパティ**が開きます。

2. 設定タブを選択し、詳細ボタンをクリックします。

すると**詳細画面のプロパティ**が開きます。

3. モニタタブをクリックし、リストから [プラグアンドプレイ モニタ] を選択します。

1 台のモニタしかリストされていない場合は、そのモニタがすでに選択されています。

4. プロパティボタンをクリックします。

すると**画面のプロパティ**が開きます。

ドライバの製造元が「BenQ」と表示されており、新しいモニタと同じモデル名が表示されている場合は、正しいドライバがすでにインストールされていますので何もすることはありません。これらのプロパティウィンドウを閉じてください。

ただし、製造元が「BenQ」と表示されていない場合、または正しいモデル名が表示されていない場合は、続けて次の手順にしたがってください。

5. ドライバタブをクリックし、ドライバの更新ボタンをクリックします。

すると**ハードウェアの更新ウィザード**が表示されます。ウィザードの手順にしたがってください。

6. コンピュータの CD ドライブにこの BenQ LCD Monitor CD-ROM を挿入します。

7. リストまたは指定した場所からインストールオプションを選択し、次へをクリックします。

8. これらの場所から最適なドライバを検索オプションと、リムーバブルメディアを検索オプションを選択し、次へをクリックします。

ウィザードがドライバと、ステップ 6 で挿入した BenQ LCD Monitor CD を検出しますのでしばらくお待ちください。検出後は、このモニタモデルに合った BenQ ドライバが CD から検出、選択されています。

9. 表示されるドライバリストから正しいモニタ名を選択し、Next (次へ) をクリックします。

コンピュータに適切なドライバファイルがコピーされ、インストールされます。

10. 完了をクリックします。

するとウィザードが終了し、**画面のプロパティ**に戻ります。

11. 閉じますかの後、OKをクリックします。

画面のプロパティを閉じます。後は何もしなくても BenQ LCD モニタドライバが直ちに作動しますので、Windows XP を再起動する必要はありません。

5. 画像の最適化

アナログ入力（D-Sub）から画像を最適化するために最も簡単な方法は、[AUTO key] 機能を使うことです。コントロールパネルで [AUTO key] を押すと、モニタが自動的に調整されます。

☞ デジタルケーブル（DVI）を使ってデジタルビデオ出力をモニタに接続する場合は、[AUTO key] と自動調整機能は無効になります。なぜなら、モニタは自動的に最高の画像を表示するからです。



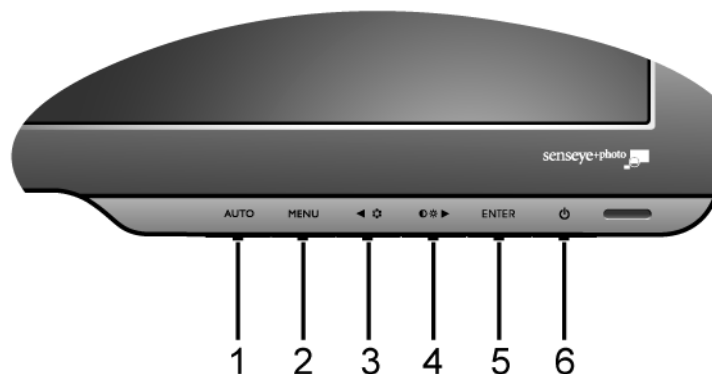
[AUTO key] 機能を使用するときには、コンピュータに接続したグラフィックカードがモニタ本来の解像度に設定されていることを確認してください。

幾何学メニューからは、いつでも画面の幾何設定を手動で調整することができます。これを簡単に行えるように、スクリーンテスト画像ユーティリティが用意されています。これを使用することによって、画面の色、グレースケール、ラインのグラデーションなどを確認することができます。

1. CD-ROMからテストプログラム auto.exe を起動してください。変更結果を調べるには、これが最も良い方法です。OSのデスクトップなど、他のイメージを使用することもできます。それでも、auto.exe を起動するとテストパターンが表示されますので、auto.exe を使用されるようお勧めします。
2. モニタの“AUTO”ボタンを押してください。
3. コントロールパネルで“MENU”を押すと、OSDにアクセスします。
4. ◀または▶キーを押して“DISPLAY”を選択し、“ENTER”キーを押すとメニューに入ります。
5. 縦にノイズが走っている場合（縦のラインがゆらめくカーテン効果に似ています）は◀か▶キーを押して、“Pixel Clock”を選択した後“ENTER”キーを押します。ここでモニタのノイズが消えるまで◀か▶キーを押します。
6. 横にノイズが走っている場合は◀か▶キーを押して、“Phase”を選択した後、“ENTER”キーを押します。ここでモニタのノイズが消えるまで◀か▶キーを押します。

6. モニタの調整

コントロールパネル



1. [AUTO] : 垂直位置、位相、水平位置、ピクセルクロックを自動的に調整します。
2. [MENU] キー : OSD メインメニューを有効にして、前のメニューに戻るか、OSD を終了します。
3. ◀ (左) / モードキー : 左に移動したり、値を減少させます。モードのホットキーとしても使用します。
4. ▶ (右) / コントラスト / 輝度キー : 右に移動したり、値を増加させます。右キーは輝度とコントラストのホットキーです。
5. [ENTER] キー : サブメニューからアイテムを選択します。このキーを "Input (入力)" のホットキーとして使用することもできます。
6. 電源スイッチ : 電源を ON/OFF します。



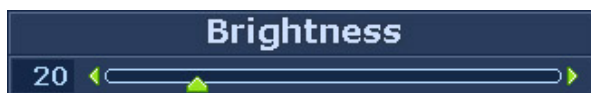
OSD = オンスクリーン ディスプレイ

ホットキーを押すと設定値を調整するためのグラデーションが表示されます。これは OSD メニューが表示されていない場合にのみ使用することができます。ホットキーはキーを何も押さなければ数秒で消えます。詳細は、[19 ページの「ホットキー モード」](#)を参照してください。

ホットキー モード

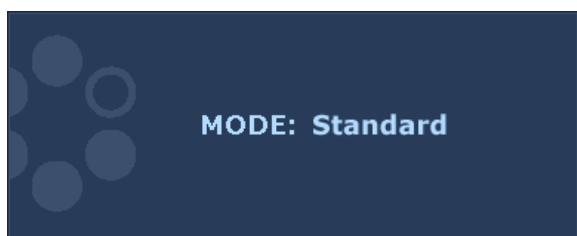
モニタキーは、メニューが画面に表示されていないときに特定の機能を直接実行するためのホットキーの役割を果たします。

輝度とコントラストのホットキー



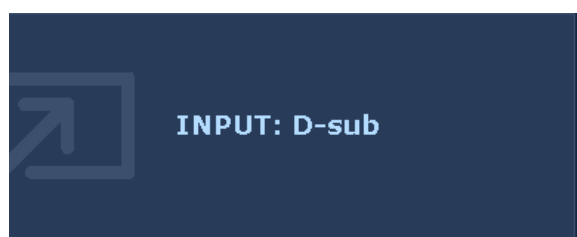
▶ キーを押すと輝度とコントラストのインジケータが表示されます。さらに ◀ キーまたは ▶ キーを押して、次に ENTER キーを押すと、輝度かコントラストを選択できます。▶ キーを押すとレベルが上がり、◀ キーを押すとレベルが下がります。終了するには、メニューキーを押してください。

モードホットキー



このキーを押し続けると、メインウィンドウの5つのモード(標準、動画、ダイナミクス、写真、sRGB)を切り替えることができます。設定は直ちに反映されます。[25 ページの「Picture Mode \(画像モード\)」](#)も参照してください。

入力ホットキー



ENTER キーを押して、モニタに接続するビデオ信号を選択してください。

設定は直ちに反映されます。[27 ページの Input \(入力\)](#)をお読みくださいも参照してください。

メインメニュー モード

モニタの設定はすべて OSD で行うことができます。

MENU キーを押すと、次のようなメインメニューが表示されます。

メインメニューには 4 種類あります。



1. DISPLAY (表示)
2. PICTURE (画像)
3. PICTURE ADVANCED
(画像の詳細設定)
4. SYSTEM (システム)

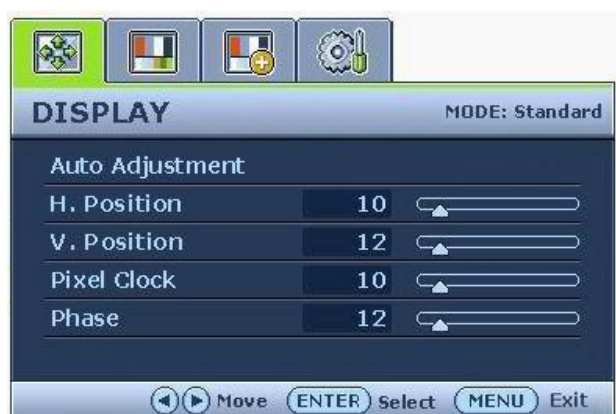
◀ (左) または ▶ (右) キーを使ってメニューアイテムを選択し、ENTER キーを押すとメニューアイテムの設定が表示されます。

💡 OSD メニュー言語は購入された地域で提供される製品により異なる場合があります。詳細は、「OSD 設定」の **27 ページの「Language (言語)」** を参照してください。

各メニューについての詳細は、次のページを参照してください。

- **21 ページの「Display (表示) メニュー」**
- **23 ページの「Picture (画像) メニュー」**
- **25 ページの「Picture Advanced (画像の詳細設定) メニュー」**
- **27 ページの「System (システム) メニュー」**

Display（表示）メニュー



1. MENU キーを押すとメインメニューが表示されます。
2. ◀ または ▶ キーを押して DISPLAY（表示）を選択し、ENTER キーを押すとメニューに入ります。
3. ◀ または ▶ キーを押してメニューアイテムをハイライト表示し、ENTER キーを押してそのアイテムを選択します。
4. ◀ または ▶ キーを押して調整または選択を行います。
5. 前のメニューに戻るには、MENU ボタンを押してください。

アイテム	機能	操作	範囲
Auto Adjustment （自動調整）	スクリーン設定を自動的に最適化、調整します。 [AUTO] ボタンはこの機能のホットキーです。 ☞ デジタルケーブル（DVI）を使ってデジタルビデオ出力をモニタに接続する場合は、[AUTO key] と自動調整機能は無効になります。	ENTER キーを押すとこのオプションが選択されますので、必要に応じて調整してください。	

H. Position (水平位置)	イメージの水平位置を調整します。	◀ または ▶ キーを押して 値を調整します。	0 から 100
V. Position (垂直位置)	イメージの垂直位置を調整します。		0 から 100
Pixel Clock (周波数)	アナログ入力ビデオ信号と同期を取るように、周波数のタイミングを調整します。デジタル入力信号の場合は使用できません。 次のトピックも参照してください。17 ページの「画像の最適化」。		0 から 100
Phase (フェーズ)	アナログ入力ビデオ信号と同期を取るように、周波数のフェーズタイミングを調整します。デジタル入力信号の場合は使用できません。 次のトピックも参照してください。17 ページの「画像の最適化」。		0 から 63

Picture（画像）メニュー



1. MENU キーを押すとメインメニューが表示されます。
2. ◀または▶ キーを押して PICTURE（画像）を選択し、ENTER キーを押すとメニューに入ります。
3. ◀または▶ キーを押してメニューアイテムをハイライト表示し、ENTER キーを押してそのアイテムを選択します。
4. ◀または▶ キーを押して調整または選択を行います。
5. 前のメニューに戻るには、MENU ボタンを押してください。

アイテム	機能	操作	範囲
Brightness (輝度)	明るいシェードと暗いシェードのバランスを調整します。 ☞ この機能は DynamicContrast が有効でなければ使用できません。	▶ キーを押すと輝度が上がり、◀ キーを押すと輝度が下がります。	0 から 100
Contrast (コントラスト)	暗いエリアと明るいエリアの差を調整します。 ☞ この機能は DynamicContrast が有効でなければ使用できません。	▶ キーを押すとコントラストが上がり、◀ キーを押すとコントラストが下がります。	0 から 100
Sharpness (鋭さ)	被写体の鮮明さを調整します。	▶ キーを押すと画面の鮮明さが向上され、◀ キーを押すとソフトになります。	1 から 5
Color（カラー設定） - ENTER を押すと Color（カラー設定）メニューに入ります。			

Normal (標準)	ビデオや静止画を自然な色で表示します。これは工場出荷時の標準値になっています。		
Bluish (薄青)	画像の色合いを寒色系にします。これは工場設定値を PC 業界標準の白にします。	◀ または ▶ キーを押してこのオプションを選択します。	
Reddish (薄赤)	画像の色合いを暖色系にします。これは工場設定値を新聞印刷標準の白にします。		
User Mode (ユーザー)	画像の色合いをユーザー自身で設定することができます。赤、緑、青の原色を混ぜ合わせることによって、画像の色合いを変更します。この値を下げると画像の各色が変わります。たとえば、青のレベルを下げると、黄色がかった色合いになります。緑のレベルを下げると、画像はマゼンタに近い色になります。		• Red (赤) (0 から 100) • Green (緑) (0 から 100) • Blue (青) (0 から 100)
Reset Color (色のリセット)	User Mode (ユーザー) 設定色をデフォルト値に戻します。	◀ または ▶ キーを押して値を調整します。	• YES (はい) • NO (いいえ)
MENU を押して Color (カラー設定) メニューを終了します。			
DynamicContrast (DCR) (画像モードが写真、ダイナミクス、動画に設定されている場合のみ使用できます)	入力画像を自動的に検出し、コントラストを最適化する機能です。レベルを上げると、できる限りより鮮明な画像が表示されます。 ☞ DCR 有効時には、輝度とコントラストの調整はできません。	ENTER キーを押すとこのオプションが選択されます。 ◀ または ▶ キーを押して設定を変更します。	0 から 5

Picture Advanced (画像の詳細設定)メニュー



1. MENU キーを押すとメインメニューが表示されます。
2. ◀ または ▶ キーを押して Picture Advanced (画像の詳細設定) を選択し、ENTER キーを押すとメニューに入ります。
3. ◀ または ▶ キーを押してメニューアイテムをハイライト表示し、ENTER キーを押してそのアイテムを選択します。
4. ◀ または ▶ キーを押して調整または選択を行います。
5. 前のメニューに戻るには、MENU キーを押してください。

アイテム	機能	操作	範囲
Picture Mode (画像モード)	画面に表示する画像の種類に最も合ったモードを選択します。 - 標準 - 基本的な PC アプリケーションで使用します。 - 動画 - ビデオを見るときに使用します。 - ダイナミクス - 風景ビデオを見るのに適しています。 - 写真 - 静止画を見るときに使用します。 - sRGB - プリンタやDSCなどの周辺機器との色を一致させます。	◀ または ▶ キーを押して設定を変更します。	- 標準 - 動画 - ダイナミクス - 写真 - sRGB
Seneye Demo (デモ) (画像モードが写真、ダイナミクス、動画に設定されている場合のみ使用できます)	画像モードで選択したモードを使って、画像をプレビューします。スクリーンは2つのウィンドウに分割されます。左側のウィンドウにはスタンダードモードで画像が表示され、右側のウィンドウには指定したモードで画像が表示されます。	◀ または ▶ キーを押して設定を変更します。	- ON (オン) - OFF (オフ)

Display Mode (画面モード)	この機能は 16:9 以外の縦横比の画像を幾何学的に歪ませることなく、正しく表示します。 • Full (全画面) - 入力画像をスクリーンに合わせて表示します。縦横比が 16:9 の画像に適しています。 • Aspect (縦横比) - 入力画像は幾何学的歪みを生じさせないように、できるだけ画面いっぱいに表示されます。  ビデオコンテンツの縦横比が 16:9 の場合は、縦横比 は使用できません。	◀ または ▶ キーを押して設定を変更します。	• Full (全画面) • Aspect (縦横比)
---------------------------------	---	--------------------------------	--

System（システム）メニュー



1. MENU キーを押すとメインメニューが表示されます。
2. ◀または▶ キーを押してSYSTEM（システム）を選択し、ENTER キーを押すとメニューに入ります。
3. ◀または▶ キーを押してメニューアイテムをハイライト表示し、ENTER キーを押してそのアイテムを選択します。
4. ◀または▶ キーを押して調整または選択を行います。
5. 前のメニューに戻るには、MENU ボタンを押してください。

アイテム	機能	操作	範囲
Input（入力）	この設定はビデオケーブルの接続タイプを選択するときに使います。	◀または▶ キーを押して設定を変更します。	• DVI • D-sub
OSD Settings（OSD 設定）- ENTER を押すと OSD Settings（OSD 設定）メニューに入ります。			
Language（言語）	OSD メニューの言語を選択します。	◀または▶ キーを押して設定を変更します。 ☞ 本製品をお求めになった地域によっては、OSD に表示される言語オプションが右図とは異なる場合があります。	• English • Français • Deutsch • Italiano • Español • Polski • Český • Magyar • SICG/BiH/CRO • Română • Netherlands • Русский • Svenska • Português • 日本語 • 繁體中文 • 简体中文

H. Position (水平位置)	OSD メニューの水平位置を調整します。	◀ または ▶ キーを押して値を調整します。	0 から 100
V. Position (垂直位置)	OSD メニューの垂直位置を調整します。		0 から 100
Display Time (表示時間)	OSD メニューの表示時間を調整します。		• 5 秒 • 10 秒 • 15 秒 • 20 秒 • 25 秒 • 30 秒
OSD Lock (OSD ロック)	モニタ設定が誤って変更されるのを防止します。この機能が有効になっている間は、OSD コントロールとホットキーはすべて無効になります。	◀ または ▶ キーを押して値を調整します。 ⓘ OSD がロックされているときに OSD コントロールをロック解除するには、MENU キーを 15 秒間押すと、OSD ロックオプションが開きますので設定を変更してください。または、◀ キーか ▶ キーを使って [OSD 設定] メニューの [OSD ロック] サブメニューから [いいえ] を選択すると、すべての OSD コントロールにアクセスすることができます。	• YES (はい) • NO (いいえ)
MENU を押して OSD Settings (OSD 設定) メニューを終了します。			
DDC/CI*	PC のソフトウェアからモニタ設定を行うことができます。	ENTER キーを押すとそのオプションが選択されます。 ◀ または ▶ キーを押して設定を変更します。	• ON (オン) • OFF (オフ)
Information (情報)	モニタのプロパティ設定を表示します。	ENTER キーを押すとそのオプションが選択されます。	
Reset All (すべて元に戻す)	すべてのモード、色、その他の設定を工場出荷時のデフォルト値に戻します。	◀ または ▶ キーを押して値を調整します。	• YES (はい) • NO (いいえ)



*Video Electronics Standards Association (VESA) により開発された DDC/CI (Display Data Channel/Command Interface の略) は、既存の DDC 規格を拡張したものです。DDC/CI 機能はソフトウェアを使ってモニタコントロールからリモート診断を送信することができます。

7. トラブルシューティング

よくある質問 (FAQ)

② 画像がぼやける：

☞ CD の "スクリーンの解像度の調整" リンクの指示にしたがってください、最適な解像度とリフレッシュレートを選択し、ステップに従って調整してください。

☞ VGA 延長ケーブルを使用している場合

テストを行うため、延長ケーブルを取り外します。画像の焦点が合っていることを確認してください。合っていない場合は、"スクリーンの解像度の調整" リンクの "リフレッシュレートの調整" セクションの指示にしたがって、画像を最適化してください。画像の最適化を行ってください。ぼやけは、延長ケーブルでの伝送損失によって自然に発生します。伝送品質に優れた、または内蔵ブースタを備えた延長ケーブルを使用することにより、これらの損失を最小限に抑えることができます。

☞ ネイティブ (最大) 解像度より低い解像度でのみぼやけが発生する場合

CD の "スクリーンの解像度の調整" リンクの指示にしたがってください。ネイティブ解像度を選択します。

② ピクセル エラーが表示される：

☞ 一部のピクセルが常時点灯したまま、または点灯しないままであったり、赤、緑、青、その他の色になったままの場合

- LCD スクリーンをきれいに掃除してください。
- 電源のオン/オフを切り替え。
- モニタの動作中に常時点滅する画素が少々存在することがありますが、これは液晶技術で一般的に発生する状況で、故障ではありません。

② 画像が不自然な色で表示される：

☞ 画像が黄、青、または薄いピンク色で表示される場合

MENU > PICTURE (画像) > Color (カラー設定) > Reset Color (色のリセット) を選択し、CAUTION (注意) メッセージボックスで YES (はい) を選択すると色の設定がデフォルト値に戻されます。

それでもイメージが正しく表示されず、OSD が不自然な色で表示されている場合は、3 つの基本色のうちいずれかの信号入力が行われていません。信号ケーブルのコネクタをチェックしてください。ピンが曲がったり破損している場合は、販売店にご相談ください。

② 画像が表示されない：

☞ ディスプレイのプロンプトが緑色に点灯している場合

LED が緑色に点灯し、画面に「Out of Range」というメッセージが表示されている場合は、モニタがサポートしていないディスプレイ モードを使用しています。モニタがサポートするモードのいずれかに設定を変更してください。"スクリーンの解像度の調整" リンクの "プリセット ディスプレイモード" セクションをお読みください。

② スクリーン上に表示される静止画像に薄い影が写ることがあります。

- 省電力機能を有効にして、コンピュータとモニタを一定時間使用しない状態が続いた場合、低消費電力の「スリープ」モードに入るようにしてください。
- 画像の残像が残らないようにスクリーンセーバをお使いください。

② ディスプレイのプロンプトがオレンジ色に点灯している場合

LED がオレンジ色に点灯している場合は、省電力モードが有効になっています。コンピュータのキーボードで任意のキーを押すか、マウスを動かしてください。それでも解決しない場合は、信号ケーブルのコネクタをチェックしてください。ピンが曲がったり破損している場合は、販売店にご相談ください。

☞ ディスプレイのプロンプトがまったく点灯しない場合

電源のメインソケット、外部電源、メインスイッチをチェックしてください。

② 画像がゆがむ、フラッシュする、ちらつく：

☞ CD の "**スクリーンの解像度の調整**" リンクの指示にしたがってください。、正しい解像度とリフレッシュ レートを選択し、ステップに従って調整してください。

☞ モニタは最高解像度に設定されていますが、画像はまだ歪んでいます。

異なる入力ソースの画像は、モニタの最高解像度で表示すると歪んだり、引き伸ばされたりする場合があります。それぞれの入力ソースを最高の状態で表示するには、[画面モード] で入力ソースに合った適切な縦横比を設定してください。詳細は、[26 ページの「Display Mode \(画面モード\)」](#)を参照してください。

② 画像が片側に寄ってしまう：

☞ CD の "**スクリーンの解像度の調整**" リンクの指示にしたがってください。、正しい解像度とリフレッシュ レートを選択し、ステップに従って調整してください。

② OSD コントロールにアクセスできません：

- OSD がロックされているときに OSD コントロールをロック解除するには、MENU キーを 15 秒間押すと、OSD ロックオプションが開きますので設定を変更してください。
- または、◀ キーか ▶ キーを使って [OSD 設定] メニューの [OSD ロック] サブメニューから [いいえ] を選択すると (システムメニュー)、すべての OSD コントロールにアクセスすることができます。

それでも具合が悪いときは

このガイドの指示に従って調整を行っても問題が解決しない場合には、お買い上げいただいた販売店にご連絡いただくか、servicejp@BenQ.com まで電子メールにてお問い合わせください。